

初版 2008/1/23

MarketFinder@sp 操作マニュアル

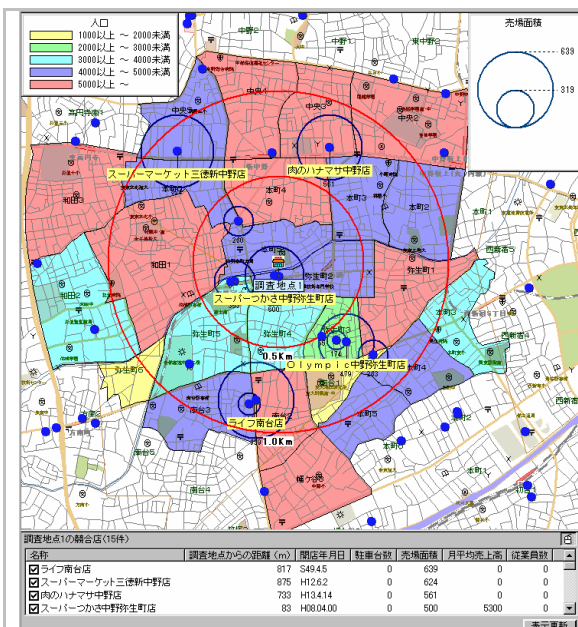
目 次

1 はじめに	1
1.1 MARKETFINDER@SPとは	1
1.1.1 商圈分析.....	1
1.1.2 レポート結果.....	1
1.2 操作概要.....	2
1.2.1 Web画面.....	2
1.3 地図操作.....	2
1.3.1 地図の拡大・縮小(その1).....	2
1.3.2 地図の拡大・縮小(その2).....	2
1.3.3 地図の拡大・縮小(その3).....	2
1.3.4 地図のスクロール(その1).....	3
1.3.5 地図のスクロール(その2).....	3
1.3.6 地図のスクロール(その3).....	3
1.3.7 地図表示のアンドゥ・リドゥ.....	3
1.3.8 副地図の利用.....	4
1.3.9 スケールのオン・オフ.....	4
1.3.10 画面のコピー.....	4
1.3.11 地図画面の再描画.....	4
2 マーケティングパネル	5
2.1 マーケティングパネル	5
2.1.1 パネル構成.....	5
2.2 分析の流れ.....	5
2.2.1 分析からレポート出力まで.....	5
2.3 商圈分析.....	6
2.3.1 調査地点の指定	6
2.3.2 界面グラフの操作	6
2.3.3 バブルグラフの操作.....	7
2.3.4 調査地点の操作	7
2.3.5 凡例操作.....	7
2.4 レポート出力.....	8
2.4.1 レポート出力.....	8
2.4.2 好みのレポート形式の登録.....	8
2.4.3 レポート表示.....	8
2.5 各種設定.....	9
2.5.1 商圈範囲設定.....	9
2.5.2 競合店設定.....	9
2.5.3 名称表示設定.....	10
2.5.4 競合店の抽出条件.....	10
2.5.5 競合店編集.....	11
2.5.6 競合店編集(追加).....	11
2.5.7 競合店編集(属性編集).....	11
2.5.8 競合店編集(移動).....	12
2.5.9 競合店編集(削除).....	12
2.5.10 競合店のエクスポート.....	12
2.5.11 競合店のインポート.....	13
2.5.12 インポートエクスポートファイル.....	13
2.6 競合店の表示コントロール.....	14
2.6.1 下画面.....	14
2.6.2 競合店表示のオン・オフ.....	14
2.6.3 競合店名称表示のオン・オフ.....	15
2.6.4 商圈外の競合店非表示.....	15
2.7 調査地点の読み込み.....	16
2.7.1 調査地点の読み込み.....	16
2.8 レポート形式一覧.....	16
2.8.1 表紙とレポート一覧表.....	16

2.8.2 基本分析.....	16
2.8.3 周辺地図.....	17
2.8.4 競合店.....	17
2.8.5 かかる行政界.....	17
2.8.6 年齢別人口.....	18
2.8.7 就業・通勤手段・居住期間人口.....	18
2.8.8 世帯数.....	18
2.8.9 商業統計.....	19
2.8.10 事業所統計.....	19
2.8.11 調査地点比較.....	19
3 住所検索.....	20
3.1 パネル構成.....	20
3.1.1 住所検索パネル.....	20
3.2 住所検索.....	20
3.2.1 PAREATown で住所検索.....	20
3.2.2 PAREAJapan で住所検索.....	20
3.3 住所文字列検索.....	21
3.3.1 キーワード検索.....	21
3.3.2 ツールバーでキーワード検索.....	21
3.3.3 ワイルドカードの利用.....	21
4 印刷.....	22
4.1 印刷設定.....	22
4.1.1 印刷設定画面.....	22
4.1.2 スケールの設定.....	22
4.1.3 ヘッダ/フッタの設定.....	23
4.1.4 その他の設定.....	23
4.2 印刷範囲ツール.....	23
4.2.1 印刷範囲ツール画面.....	23
4.3 印刷プレビュー.....	24
4.3.1 プレビュー画面.....	24
4.3.2 「プレビュー」でページ送りする.....	24
4.4 プレビュー画面の図形操作.....	25
4.4.1 文字列の作図.....	25
4.4.2 ラインの作図.....	25
4.4.3 ライン設定.....	25
4.4.4 画像の貼り付け.....	25
4.4.5 図形オブジェクトの移動.....	26
4.4.6 オブジェクトの編集・削除.....	26
4.4.7 オブジェクトの前後関係.....	26
4.5 プレビュー画面の入出力.....	27
4.5.1 プレビュー画像の出力.....	27
4.5.2 印刷領域の保存と読み込み.....	27
4.5.3 テンプレートの保存と読み込み.....	27
4.6 プレビュー画面の設定.....	28
4.6.1 印刷設定.....	28
4.6.2 余白の修正.....	28
4.6.3 地図枠線の修正.....	28
4.6.4 印刷実行.....	28
5 その他の操作.....	29
5.1 各種操作.....	29
5.1.1 距離の計測.....	29
5.1.2 面積の計測.....	29
5.1.3 名称の重なり除去.....	29
5.1.4 画面のオン・オフ切り替え.....	30
5.1.5 オンラインマニュアルの表示.....	30
5.1.6 バージョン表示.....	30

1 はじめに

1.1 MarketFinder@ spとは



1.1.1 商圏分析

MarketFinder@sp とは、GIS 機能の中で特に商圏分析に特化したASP サービスのことです。簡単な操作で、分析したい地点の商圏を分析し、分析結果をレポートに出力することができます。

商圏分析とは具体的に、ある地点を中心に同心円あるいは到達圏で商圏を定義し、商圏内の人口や世帯数、更に昼夜間人口の比率や世帯人員、年齢別人口、就業・通勤・居住状況、各種商業統計や事業所統計などを簡単にレポートする機能です。レポート結果はエクセルの表となって保存されます。

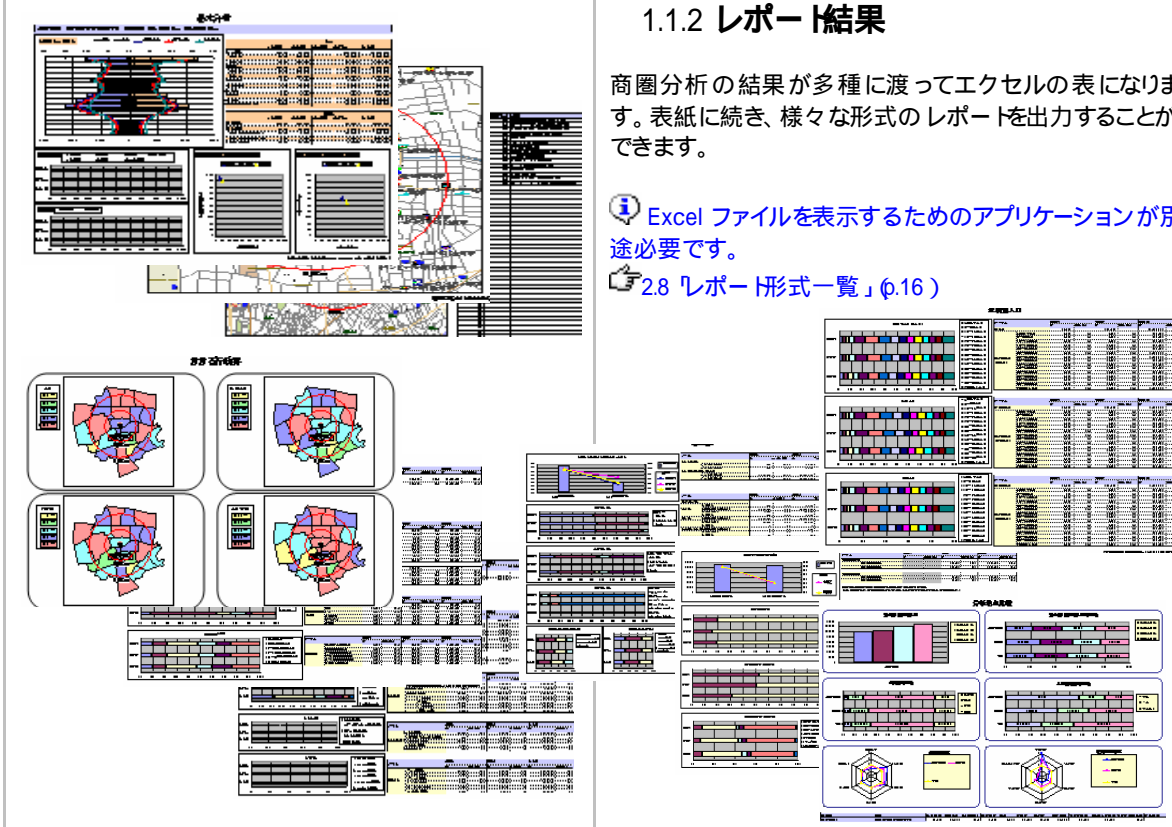
GIS の難しい操作を省き、誰でも簡単に操作できるように設計されています。ユーザは地図上の任意の地点をクリックするだけで商圏分析結果を得ることができます。図は地図上に表された分析結果の一例です。商圏内の町丁目人口が界面表示され、競合店の売場面積の大きさをバブルグラフで表現しています。売場面積の大きな競合店には店舗名称を表示しています。

1.1.2 レポート結果

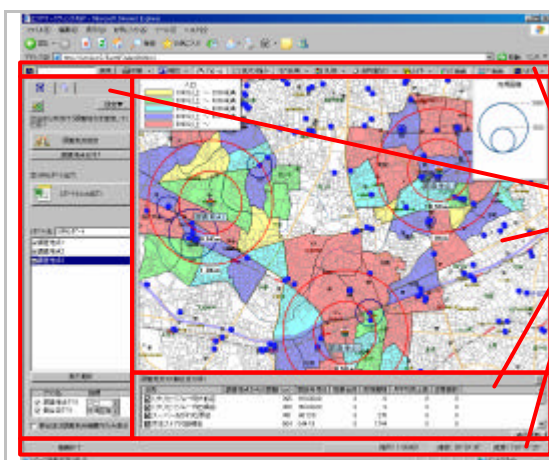
商圏分析の結果が多種に渡ってエクセルの表になります。表紙に続き、様々な形式のレポートを出力することができます。

Excel ファイルを表示するためのアプリケーションが別途必要です。

2.8 「レポート形式一覧」(p.16)



1.2 操作概要



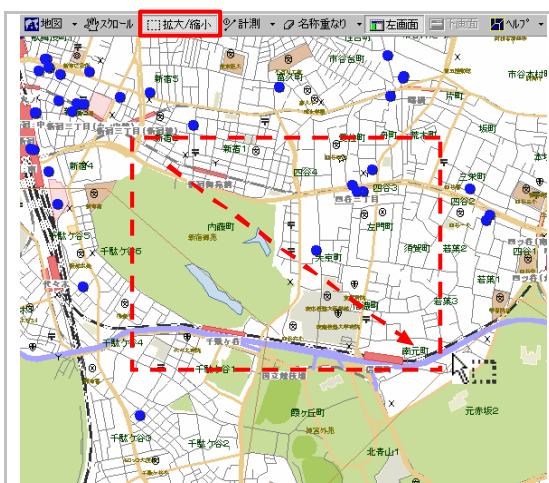
1.2.1 Web 画面

Web 画面上の構成について説明します。画面は大きく分けて5つの領域に分割されています。

- ・ツールバー
- ・左パネル (左画面)
- ・地図画面
- ・下画面
- ・ステータスバー


の5つです。操作は主に のツールバーと の左パネルを使用しますが、一部 と も使用します。

1.3 地図操作




1.3.1 地図の拡大 縮小 (その1)

地図を拡大 縮小する方法は全部で3通りあります。ここではひとつ目の方法について説明します。

「ツールバー」の「拡大/縮小」を選択すると、マウスカーソルが  のアイコンに変わります。

拡大 : マウス左ボタンでドラッグします。

縮小 : マウス右ボタンでドラッグします。

 ドラッグとはマウスのボタンを押し付けたまま画面移動させて離す操作のことです。通常は地図画面の左上から右下に向かってドラッグします。拡大はドラッグした領域を画面全体になるように、縮小は反対に画面一般がその領域になるように倍率を決めます。



1.3.2 地図の拡大 縮小 (その2)

「ツールバー」の「地図/地図操作」を選択します。これにより地図上に操作パネルが現れます。

スライダーを上下に動かします。

倍率をリストボックスから選択します。

任意の倍率を数値で入力します。

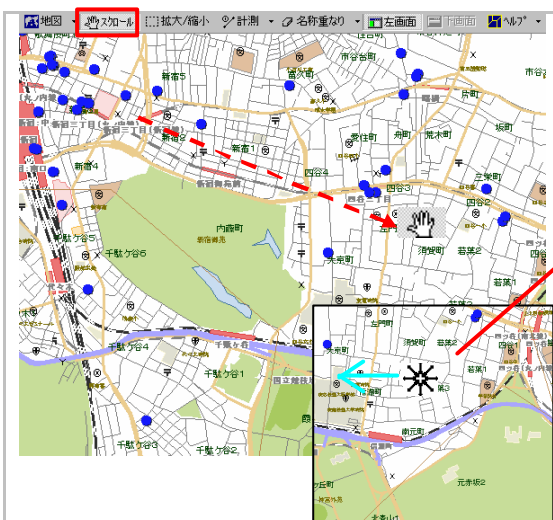
1.3.3 地図の拡大 縮小 (その3)

マウスホイール (左右ボタンの間にあるホイール) を使用します。

拡大 : ホイールを向こう側に回転させます。


縮小 : ホイールを手前に回転させます。






1.3.4 地図のスクロール (その1)

地図をスクロールする方法は全部で3通りあります。

「ツールバー」の「スクロール」を選択すると、マウスカーソルが  のアイコンに変わります。

マウス左ボタンでドラッグします。

マウス右ボタンでドラッグすると自動スクロールになります。

 ドラッグとはマウスのボタンを押し付けたまま画面移動させて離す操作のことですが、自動スクロールの場合 (右ボタンの場合) には、マウスを離さずに移動させたままの状態していると、最初の方角に向かって自動的にスクロールを続けます。この場合は手のアイコンではなく、特殊なアイコンが地図上に現れます。



1.3.5 地図のスクロール (その2)

「ツールバー」の「地図/地図操作」を選択します。

操作パネル上で8方向ボタンを使います。ボタンの方向に地図が移動します。

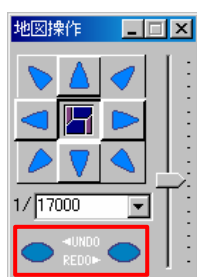
ひとつのボタンで移動する距離 (程度) は予め決められています。



1.3.6 地図のスクロール (その3)

マウスホイール (左右ボタンの間にあるホイール) を使用します。

ホイールを押したまま (手から拳骨のアイコンに変わります) マウスを移動させてスクロールします。



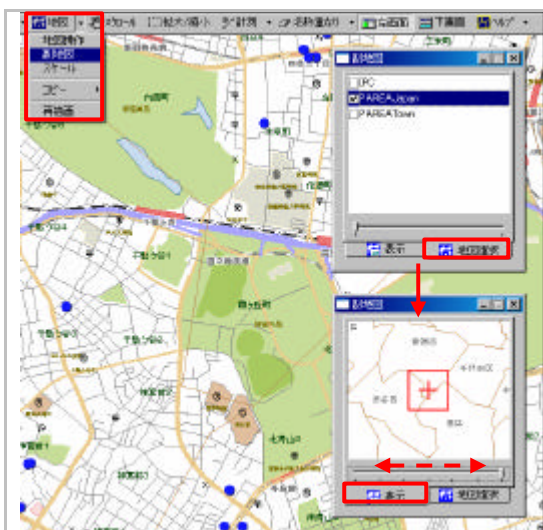
1.3.7 地図表示のアンドウ・リドゥ

地図の拡大・縮小、スクロール、ジャンプ (地図移動) などに対しては、ひとつ前の状態に戻すアンドウや、アンドウ操作を再度元に戻すリドゥを行うことができます。

「ツールバー」の「地図/地図操作」を選択します。

操作パネル上でアンドウ・リドゥのボタンを押します。

アンドウ・リドゥ操作は一定の回数になるまで何回でも実行できます。



1.3.8 副地図の利用

地図画面とは別に、もう一つ小さな副地図画面を表示することができます。

「ツールバー」の「地図/副地図」を選択します。

別画面が表示されます。最初は空白の画面となっており「地図選択」から始めます。

地図の利用が比較的中広域 (1/1万 ~ 1/数10万) の場合には「PAREAJapan」を選択し、比較的精細域 (~ 1/1万程度) の場合には「PAREATown」を選択します。好みでどちらを利用しても構いません。

「表示」を選択すると画面内に地図が表示されます。表示されない場合には画面下方のスライダーを調整します。

副地図画面内の赤枠線をマウスでドラッグすると、主地図の方も表示位置が追従していきます。



1.3.9 スケールのオン・オフ

スケール (物差しの目盛り) の表示オン・オフを切り替えます。

「ツールバー」の「地図/スケール」を選択します。

オンとオフが切り替わります。ツールバー上でチェックが付いている状態がスケール表示状態です。

スケールの位置は移動可能です。マウスでドラッグすることにより任意の位置に移動します。



1.3.10 画面のコピー

地図画面の画像をクリップボードにコピーします。地図画面全体と任意領域を選択できます。

「ツールバー」の「地図/コピー/全画面」を選択します。

地図領域の全面画像がクリップボードにコピーされます。

「ツールバー」の「地図/コピー/範囲指定」を選択し、地図画面上でマウスをドラッグすると範囲内の画像がクリップボードにコピーされます。



1.3.11 地図画面の再描画

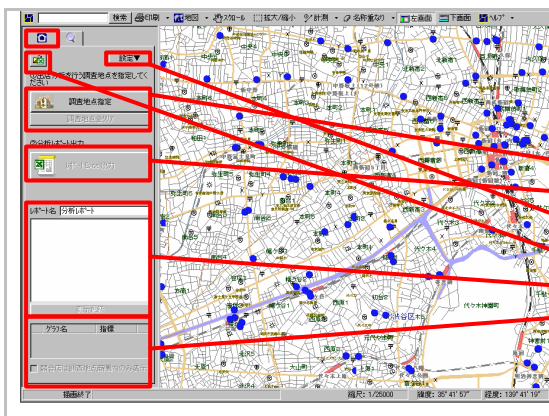
通信不良など、何らかの理由で地図の一部が欠けたりした場合には、強制的に地図の再描画を行います。

「ツールバー」の「地図/再描画」を選択します。

地図が再描画されます。

2 マーケティングパネル

2.1 マーケティングパネル



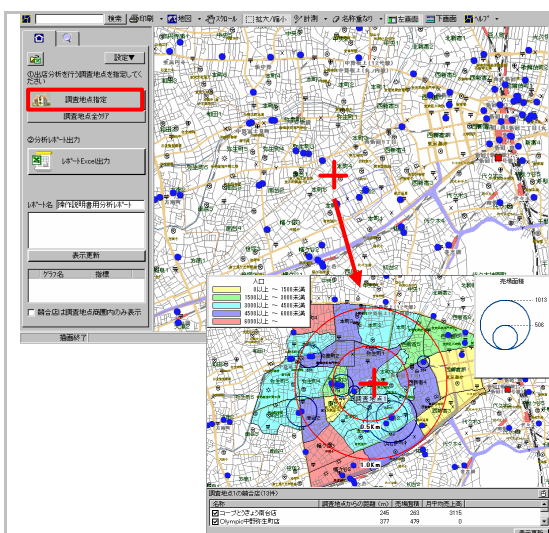
2.1.1 パネル構成

マーケティングパネルの構成について説明します。画面内には、

- ・調査地点の指定とクリア
- ・レポート出力
- ・商圈や競合店の設定
- ・一度レポート出力した調査地点の読み込み
- ・調査地点リスト
- ・グラフリスト

などの機能が配置されています。

2.2 分析の流れ



2.2.1 分析からレポート出力まで

分析からレポート出力までの操作の流れを説明します。

調査地点指定」ボタンを押してから、地図上の任意の地点をクリックします。

クリック位置を中心に商圈が作成され、商圈範囲と商圈内の分析結果が地図上に図示されます。

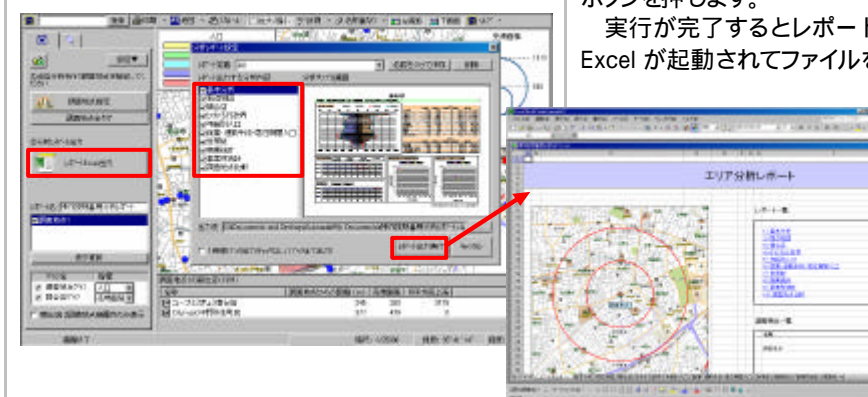
商圈の大きさは任意に設定することができます。

📄 [2.5.1 「商圈範囲設定」\(p.9\)](#)

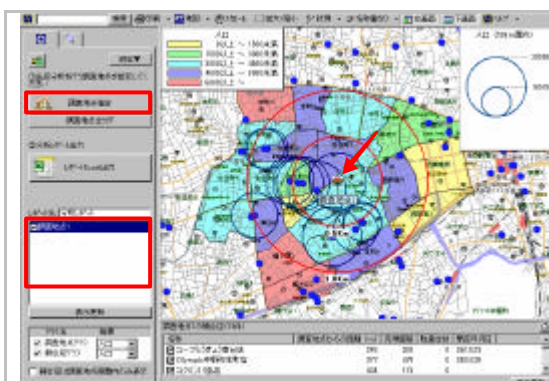
レポートを作成するために「レポート Excel 出力」ボタンを押します。

作成するレポートの種類を指定して「レポート出力実行」ボタンを押します。

実行が完了するとレポートがファイルに保存され、同時に Excel が起動されてファイルを確認することができます。



2.3 商圈分析

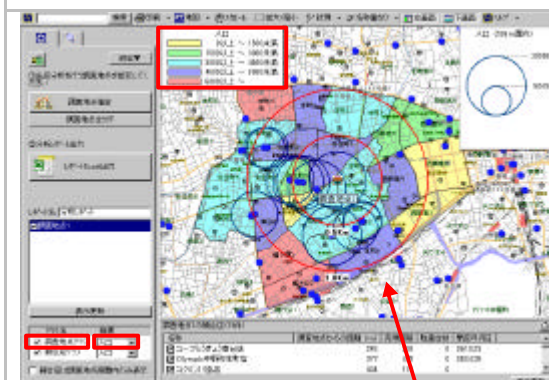


2.3.1 調査地点の指定

まずは地図上の調査地点を指定して分析を行います。

調査地点指定」ボタンを押します。
続けて地図上の任意の地点をクリックします。

これにより、商圈内のデータを集計し、結果を地図上に図示します。調査地点は最大 5 つまで指定することができ、調査地点リストに一覧表示されます。



2.3.2 界面グラフの操作

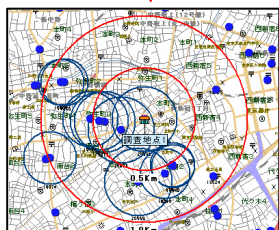
調査地点を指定すると、商圈内に掛かる町丁目の人口などが界面グラフとして地図上に色塗りされます。

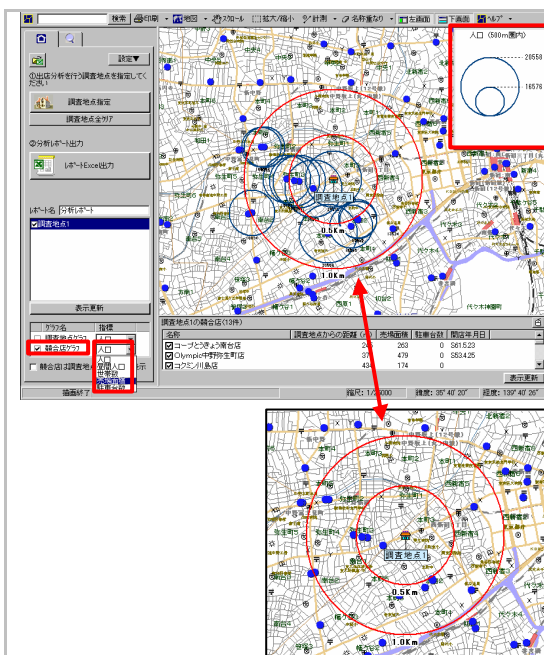
調査地点 グラフのチェックをオン・オフすると界面表示の表示/非表示が切り替わります。

リストボックスの選択により人口などのデータ指標を変更することができます。

界面色の割当ては凡例で確認できます。

商圈は赤枠で表現され、その枠に掛かる町丁目人口などが集計されます。





2.3.3 バブルグラフの操作

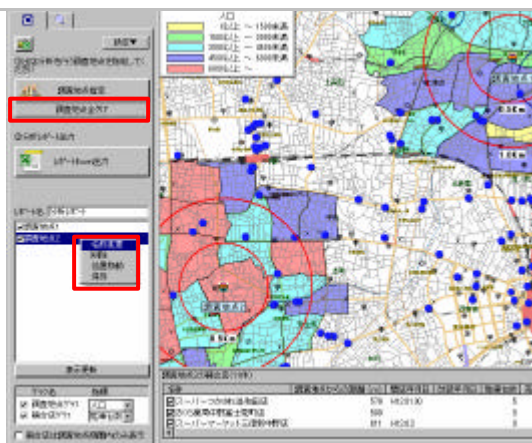
バブルグラフは商圏内 (赤枠内) に存在する各競合店に対して与えられます。バブルの大きさが意味するものは、競合店を中心とした商圏内にかかる町丁目人口、あるいは競合店の売場面積などの属性値です。選択された指標の値がバブルの大きさとなります。

競合店グラフのチェックをオン・オフするとバブルグラフの表示/非表示が切り替わります。

リストボックスの選択により人口などの統計データ指標あるいは売場面積などの属性指標を設定することができます。バブルの大きさの割当ては凡例で確認できます。

i 指標として人口など統計データの指標を選択した場合には中心 (調査地点) のバブルも表示されますが、売場面積などの属性を選択した場合には中心のバブルは現れません。任意の調査地点には属性が存在しないからです。商圏の定義や競合店の属性は設定可能です。

2.5 各種設定 (p.9)



2.3.4 調査地点の操作

調査地点の名称編集や削除、地図移動、保存などを行います。

操作対象となる「調査地点」をマウスで選択します。

マウス右ボタンメニューで「名称変更」を選択すると名称を編集できます。

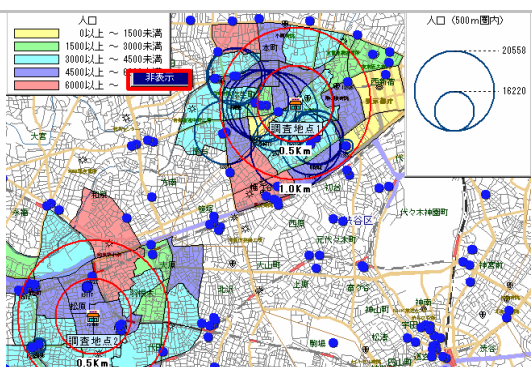
マウス右ボタンメニューで「削除」を選択すると調査地点をクリアします。

マウス右ボタンメニューで「位置移動」を選択すると、その調査地点が地図の中心に置かれます。

マウス右ボタンメニューで「保存」を選択すると、その調査地点が保存されます。

2.7 調査地点の読み込み (p.16)

調査地点を全てクリアするには「調査地点全クリア」ボタンを押します。



2.3.5 凡例操作

凡例の表示をオン・オフすることができます。必要に応じて凡例を一時的に非表示にし、再度表示することが可能です。

マウスを凡例の位置に持っていき「右ボタン」により「非表示」を選択すると、地図上から凡例が消えます。

再度凡例を表示させるには、対応するグラフを再表示 (グラフのチェックをオフからオンに変更) します。

調査地点グラフは界面グラフ、競合店グラフはバブルグラフのことです。

2.4 レポート出力



2.4.1 レポート出力

レポートにより 既に調査を行った地点の (調査地点リストに一覧表示されている) 分析結果を Excel 形式で出力します。出力されるファイル名として「レポート名」が採用されます。この名称は任意に書き替えることができます。

「レポートExcel 出力」ボタンを押します。

様々なレポート形式の中から出力したい形式を選択します。いくつでも選択可能です。

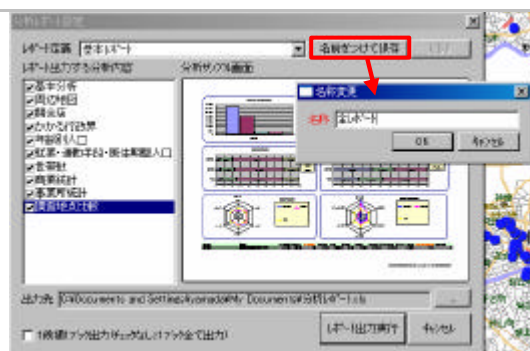
ひとつの Excel ファイルで出力するか、調査地点毎にファイルを出力するかを決めます。

出力フォルダを指定します。通常はマイ ドキュメントがセットされています。

ファイル名にはレポート名がセットされています。フォルダやファイル名を変更する場合は「...」ボタンを押します。

「レポート出力実行」ボタンを押します。

これでレポートが自動生成されます。



2.4.2 好みのレポート形式の登録

レポート形式の中から、その選び方のいくつかを予め登録することができます。次回以降には登録したパターンを選択することにより、各種形式に対してその都度チェックを付け直す必要がなくなります。


「レポートExcel 出力」ボタンを押します。

出力するレポートのチェックをオン・オフします。

名前をつけて保存」ボタンを押します。

相応しい名称をキー入力し「OK」ボタンを押します。

「レポート定義」リストに登録されます。

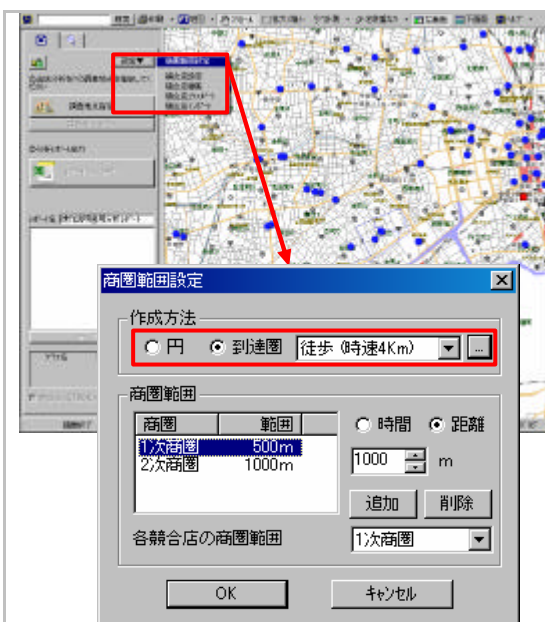
 キャンセル」で分析レポート設定ダイアログを閉じた場合でも登録は残りますが、次のレポート出力の初期選択は前回実行した時の定義となります。



2.4.3 レポート表示

レポート出力実行後、レポートが生成されると Excel が自動的に起動され、レポートを確認することができます。既にファイル保存されているので、確認後は Excel を閉じて構いません。

2.5 各種設定



2.5.1 商圈範囲設定

商圈の形状は円あるいは到達圏で与えられ、それぞれ最大3次商圈まで定義できます。到達圏の場合には移動手段として自動車、自転車、徒歩の中から選択し、距離の他に時間の指定も可能です。単に商圈と称した場合には、一番外側の商圈を意味します。

設定 / 商圈範囲設定」を選択します。

円/到達圏のいずれかを選択します。

到達圏の場合には車/徒歩/自転車を選択します。「…」ボタンにより時速を変更することができます。

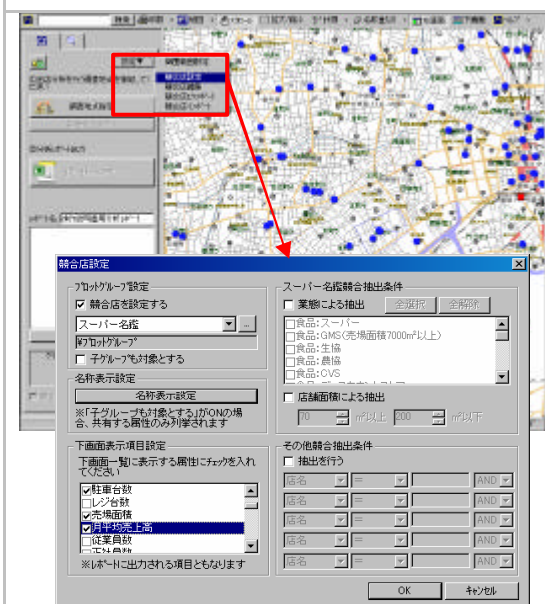
更に到達圏の場合には時間/距離を選択します。

スピンコントロールで値を増減し「追加」ボタンで商圈を定義します。最大3個まで定義できます。

不要な商圈はマウス選択し「削除」ボタンを押します。

「各競合店の商圈範囲」を「なし/1/2/3次商圈」の中から選択します。

各競合店の商圈範囲とは、商圈内の各競合店に対して与えられるパブルグラフの設定です。「なし」を選択した場合にはパブルグラフの対象は競合店の属性(売場面積など)に限定されます。1次商圈を選択した場合には、属性の他に人口、世帯数などの統計データを集計することができます。集計する領域は各競合店を中心とした1次商圈の値(円あるいは到達圏)となります。3次商圈まで定義している場合には3次まで選択することができます。すなわち調査地点と同じデータ集計を各競合店で行うことを意味します。



2.5.2 競合店設定

競合店の設定について説明します。スーパー名鑑などのプロットグループを設定したり、下画面に表示する属性を選択します。この他、業態の選択や条件検索により、競合店の絞り込みも可能です。

設定 / 競合店設定」を選択します。

競合店としてスーパー名鑑などの「プロットグループ」を指定します。独自のプロットグループを設定したい場合には「…」ボタンによりグループを選択します。

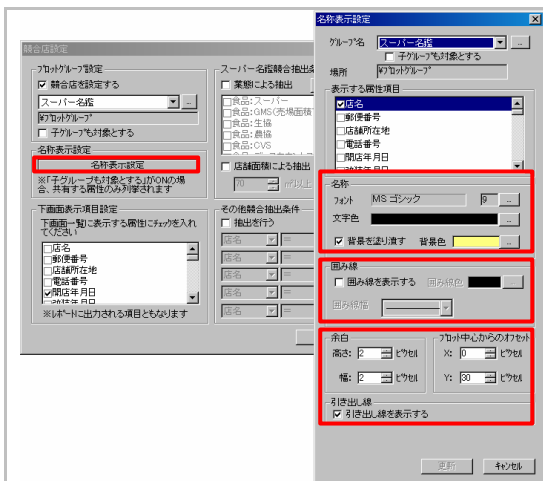
各競合店の名称を地図上に表示させたい場合、表示方法を変更する場合には「名称表示設定」ボタンを押します。

2.5.3 名称表示設定 (p.10)

下画面に表示する競合店の属性を選択します。最大5つまで選択できます。ここで選択された属性の内、数値属性のものは競合店グラフ(パブルグラフ)の指標となり得ます。

右側の画面で、競合店の抽出条件を設定することができます。この条件に合致するものだけが地図上に表示されます。

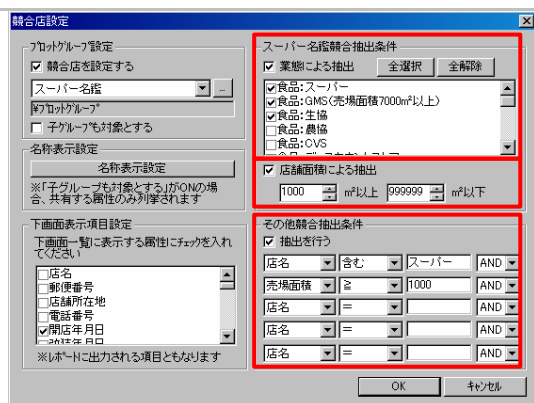
2.5.4 競合店の抽出条件 (p.10)



2.5.3 名称表示設定

競合店設定画面で「名称表示設定」ボタンを押します。
 名称表示する属性を選択します。
 フォントやフォントサイズ、色、背景などを設定します。
 囲み線の有無、その線属性を設定します。
 余白や引き出し線の設定を行います。

設定によっては図のような見映えが可能になります。



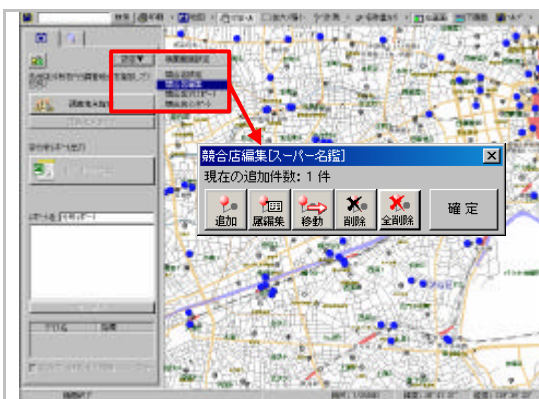
2.5.4 競合店の抽出条件

スーパー名鑑あるいは地図店舗シンボルを使用する場合には「業態による抽出」が利用可能です。またスーパー名鑑では「売場面積」の値による抽出も可能です。その他任意の属性値を、数の大小あるいは含まれる文字列などで絞り込むことができます。

競合店設定画面の右側が抽出条件の設定となります。
 「業態による抽出」のチェックをオンにする業態を選択できます。抽出する業態にチェックを入れます。
 「店舗面積による抽出」のチェックをオンにすると店舗面積で競合店を選別できます。面積の上限と下限を入れることになるので、例えば「1000 ㎡以上の競合店だけを抽出したければ「1000」と「999999」(充分大きな値)を入れます。
 右下の画面は任意の属性値による抽出条件です。最大5つまでの条件を「AND」と「OR」で組み合わせます。

i 任意の属性値による「AND」と「OR」の組み合わせは、頭から評価していきます。例えば「AND OR AND」という評価式があった場合には「(AND)OR)AND」という計算を行います。「AND)OR(AND)」ではないことに注意してください。

i スーパー名鑑あるいは地図店舗シンボル以外の競合店では、右下の抽出条件のみ使用可能です。



2.5.5 競合店編集

競合店を新たに追加したり編集、削除する機能です。設定されている競合店が、スーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、新たに追加した店舗のみ編集や削除が可能です。既定の店舗は編集できません。新たな店舗と既定の店舗を区別し易くするため、両者のプロットシンボルは異なる形状となっています。この場合には、新たな店舗が属するプロットグループ名は「スーパー名鑑_ユーザ追加」のように便宜上のグループ名称となります。独自のプロットグループを利用している場合には区別はありません。

設定 / 競合店編集」を選択します。

競合店編集ダイアログが現れます。

編集後は「確定」ボタンを押します。これにより編集が確定します。

確定ボタンを押さずにダイアログを閉じると、これまでの一連の編集操作をキャンセルすることができます。



2.5.6 競合店編集 (追加)

現在設定されている競合店に新たな競合店を追加します。設定されている競合店が、スーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、新たに追加されるプロットシンボルは異なる形状となります。

競合店編集ダイアログで「追加」ボタンを押すと追加モードになります。

地図上の任意の地点をクリックします。

クリックした場所にプロットシンボルが配置されます。

追加モードを抜けるには再度「追加」ボタンを押します。



2.5.7 競合店編集 (属性編集)

競合店の属性を編集します。設定されている競合店がスーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、新たに追加した店舗のみ属性の編集が可能です。

競合店編集ダイアログで「属編集」ボタンを押すと属性編集モードになります。

地図上の店舗シンボルをクリックすると編集画面が現れます。

属性の値を編集 (入力) し「更新」ボタンを押します。

「アイコン登録」ボタンによりプロットシンボルを変更したり、スライダーで「サイズ」を変更することもできます。

属性編集モードを抜けるには再度「属編集」ボタンを押します。



2.5.8 競合店編集 (移動)

競合店を移動します。設定されている競合店がスーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、新たに追加した店舗のみ移動が可能です。

競合店編集ダイアログで「移動」ボタンを押すと移動モードになります。

地図上の店舗シンボルをクリックするとドラッグ状態となります。移動先で再度クリックして場所を確定します。

ドラッグの最中にマウス右ボタンメニューで「キャンセル」すると元の位置に戻ります。

移動モードを抜けるには再度「移動」ボタンを押します。



2.5.9 競合店編集 (削除)

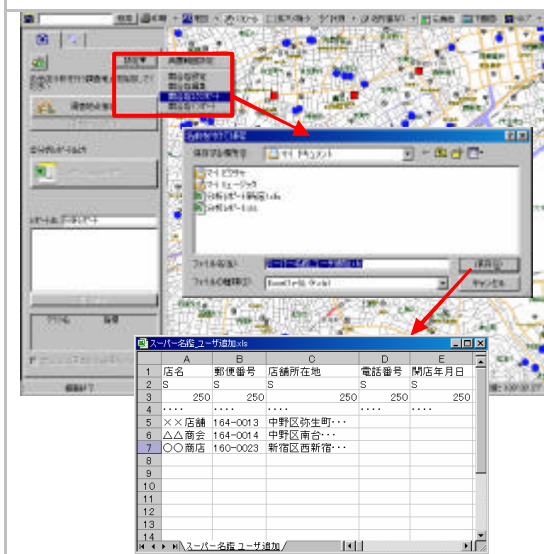
競合店を削除します。設定されている競合店がスーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、新たに追加した店舗のみ削除が可能です。

競合店編集ダイアログで「削除」ボタンを押すと削除モードになります。

地図上の店舗シンボルをクリックすると確認用のプロット削除ダイアログが現れます。内容を確認し「削除」ボタンを押します。

削除モードを抜けるには再度「削除」ボタンを押します。

競合店編集ダイアログで「全削除」ボタンを押すと、全ての店舗を削除することができます。



2.5.10 競合店のエクスポート

現在設定されている競合店グループ一式をExcelファイルにエクスポートします。出力する競合店がスーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、新たに追加した店舗一式が出力されます。

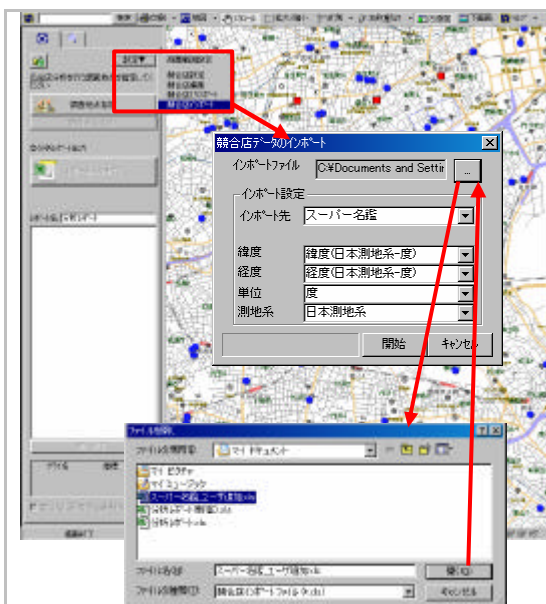
設定 / 競合店エクスポート」を選択します。

出力先のフォルダとファイル名を確認し「保存」ボタンを押します。

店舗一式がExcelファイルに保存されると、Excelが起動され保存されたファイルの内容を確認できます。

📎 [2.5.12 「インポートエクスポートファイル」\(p.13\)](#)

A	B	C	D	E
1	店名	郵便番号	店舗所在地	電話番号
2	S	S	S	S
3	250	250	250	250
4	×	×	×	×
5	△△店	164-0013	中野区弥生町...	
6	△△店	164-0014	中野区南台...	
7	△△店	160-0023	新宿区西新宿...	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				



2.5.11 競合店のインポート

Excel ファイルをインポートします。インポート先がスーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、先にエクスポートされた同一形式のファイルを指定することにより、規定の店舗属性と追加分の店舗属性を合致させる必要があります。インポート先のデータが既に存在する場合には、前のデータは削除され一括してインポートデータに置き換わります。

設定 / 競合店インポートを選択します。

「…」ボタンにより読み込むファイルを指定します。

インポート先を選択します。独自形式の場合には「オリジナル競合店」を選択します。

緯度と経度が格納されている Excel ファイルの列名を選択します。既定のプロットグループの場合にはプリセットされている項目のまま実行します。

単位と測地系を選択します。これも通常は「度」と「日本測地系」のまま変更しませんが、独自形式の場合には正しく指定する必要があります。

開始」ボタンにより実行が開始されます。

1	店名	郵便番号	店舗所在地	電話番号	開店年月日	経度	緯度	経度(日本測地系)	緯度(日本測地系)
2	S	S	S	S	S	N	N	N	N
3	250	250	250	250	250	5.6	5.6	5.6	5.6
4
5	△△店	164-0013	中野区弥生町...	139.71287	35.666121
6	△△商會	164-0014	中野区南台...	139.69968	35.662679
7	○○商店	160-0023	新宿区西新宿...	139.679	35.662738
8						139.68651	35.665046		

2.5.12 インポートエクスポートファイル

スーパー名鑑など既定のプロットグループをインポートする場合には、先にエクスポートされたファイル形式に準拠してください。それぞれの店舗には緯度 経度が必要です。

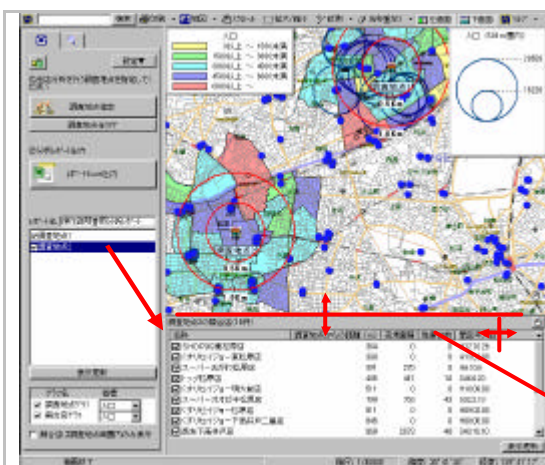
1～3行目はヘッダです。4行目以降に店舗データを格納します。

1行目は属性の名称です。任意の名前が付けられますが、インポート先がスーパー名鑑など既定のプロットグループの場合には、エクスポートしたファイルのヘッダは変更してはいけません。独自形式の場合には、1列目で店舗名称を与え、必ず緯度と経度を定義してください。

2行目には半角大文字の「S」または「N」を指定します。Sは文字型、Nは数値型を意味します。3行目は桁数の指定です。文字型の場合には文字数(半角文字換算)、数値型の場合には「整数部桁数.少数点以下桁数」となります。整数の場合には「少数点以下桁数」を省略します。例えば「5.8」は整数部5桁で少数点以下を8桁確保することになり「10」は10桁の整数を意味します。緯度と経度は数値型で指定します。桁数はギリギリの値とせず、ある程度余裕を持った数値を推奨します。

4行目以降に、ヘッダで定義した属性項目に従い、各店舗の情報を与えていきます。途中の空白行や NULL 行は避け、連続してデータを与える必要があります。

2.6 競合店の表示コントロール



2.6.1 下画面

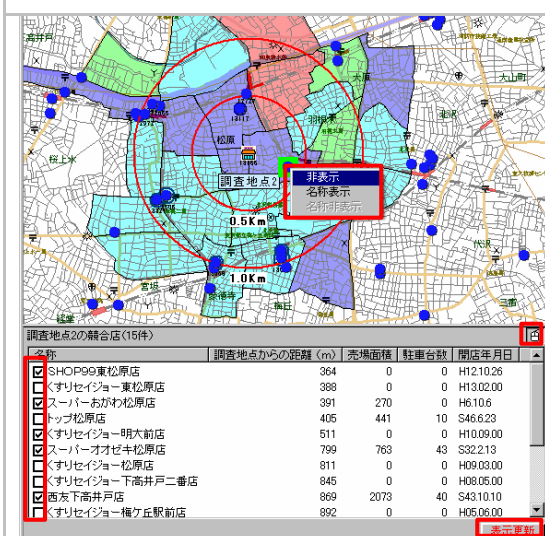
調査地点を指定後は、商圏内（一番外側の赤枠線内）に位置する競合店が下画面に一覧表示されます。表示の順番は調査地点に近い順（直線距離の小さい順）となります。表示される項目は名称、調査地点からの距離の他、競合店設定で指定した最大5個の属性です。各属性の大小での並べ替えが可能です。

調査地点を指定すると競合店が下画面に一覧表示されます。複数の調査を行った場合には、マウス選択されている調査地点の競合店となります。

一番上の見出しをクリックすると、その値の順に並べ替えが可能です。一度クリックすると昇順（小さい順）、再度クリックすると降順となります。文字列の場合には文字コード順となります。

列の幅は任意に変えられます。見だしの区切りの線をドラッグして伸ばしたり縮めたりします。

下画面の高さも変更することができます。地図画面との境界線をドラッグすることにより高さが伸び縮みします。



2.6.2 競合店表示のオン・オフ

商圏内部の特定の競合店だけを非表示にすることができます。競合店が密集していたり、競合対象から外したい店舗がある場合に便利です。

下画面で競合店の左側にあるチェックを外し「表示更新」ボタンを押すと競合店が非表示になります。

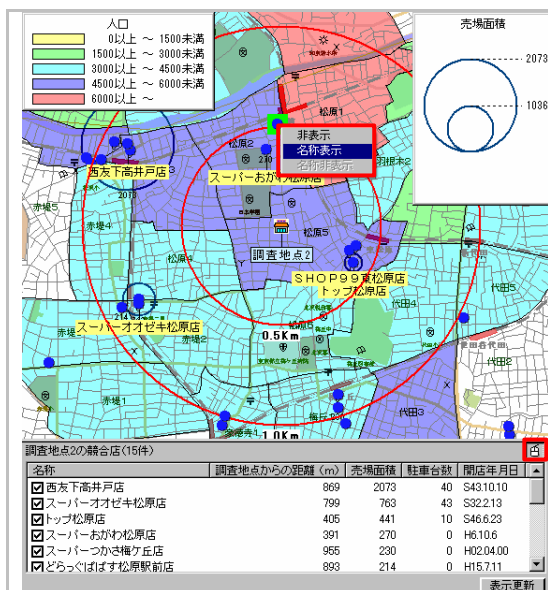
下画面のマウスアイコンをクリックします（アイコンが凹みマウス指示が有効となります）。次に地図上の競合店シンボルをクリックするか、あるいは領域を囲むようにドラッグすると、対象となる競合店シンボルが緑の枠で囲まれます。

マウス右ボタンメニューの「非表示」を選択すると、緑枠で囲まれた対象となった競合店は非表示となります。

選択を解除したい場合には再度「マウスアイコン」をクリックし無効とします。これでマウス選択対象はクリアされます。

一度非表示にした競合店を再度表示させる場合には、下画面でチェックを付け「表示更新」ボタンを押します。

 チェックのオン・オフ状況が変化すると「表示更新」ボタンの色が赤に変わります。



2.6.3 競合店名称表示のオン・オフ

商圈内部の特定の競合店に対して名称を表示することが可能です。名称として表示される項目や見映えについては編集可能です。

[2.5.3 名称表示設定](#) (p.10)

下画面のマウスアイコンを有効にします。

地図上の競合店シンボルをクリックするか、あるいは領域を囲むようにドラッグすると、対象となる競合店シンボルが緑の枠で囲まれます。

マウス右ボタンメニューの「名称表示」を選択すると、緑枠で囲まれた対象となった競合店の名称が地図上に表示されます。

選択を解除したい場合には再度「マウスアイコン」をクリックし無効とします。これでマウス選択対象はクリアされます。

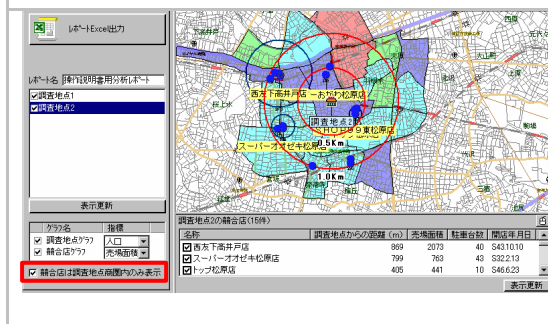
一度名称表示した競合店を再度シンボルだけの表示に戻す場合には、のマウス選択を行い、マウス右ボタンメニューの「名称非表示」を選択します。

名称だけでない競合店シンボルも非表示にする場合には下画面のチェックを外します。

商圈内の競合店表示モードは、シンボル + 名称表示、シンボルだけの表示、非表示の3種類となります。

名称表示が密集した場合には重なりを排除し一部の名称を間引く方法もあります。

[5.1.3 名称の重なり除去](#) (p.29)



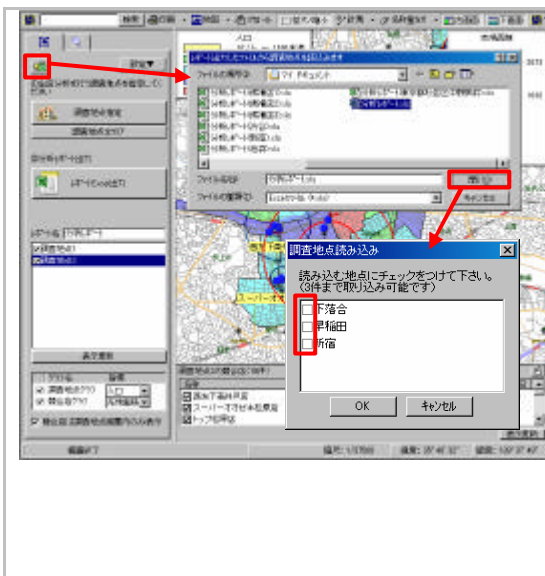
2.6.4 商圈外の競合店非表示

商圈内部の競合店だけに注目したい場合には、商圈外の競合店を全て非表示にすることができます。

パネルの下に位置する「競合店は調査地点商圈内のみ表示」のチェックを付けます。これにより商圈外部の競合店を非表示にします。

チェックを外すと全ての競合店が表示されます。

2.7 調査地点の読み込み



2.7.1 調査地点の読み込み

過去に保存したりレポート出力した地点を再度読み込むことができます。これは過去に行ったレポート結果をそのまま取り込むのではなく、調査地点を再現し(位置と名称)現在の設定で再度分析を行うことを意味します。商圈の設定や競合店の設定に変更がなければ同様の結果が得られますが、再度分析計算が行われることになります。

パネル左上の読み込みボタンを押します。

ファイルの種類を選択し、過去にレポート出力したExcelファイルあるいは保存した調査結果ファイルを選択します。

レポートに複数の調査地点が含まれる場合には、読み込み候補の一覧が表示されます。

読み込む調査地点のチェックを付け「OK」ボタンを押します。調査地点の最大は5個なので、それをオーバーするような選択はできません。

2.8 レポート形式一覧



2.8.1 表紙とレポート一覧表

レポート種類の選択にかかわらず、ひとつ目のシート名は「エリア分析レポート」となり、生成されたレポート一覧が表示されます。

ふたつ目以降のシートは、レポート選択と単一/複数ファイル設定に依存します。

 2.4.1 「レポート出力」(p.8)

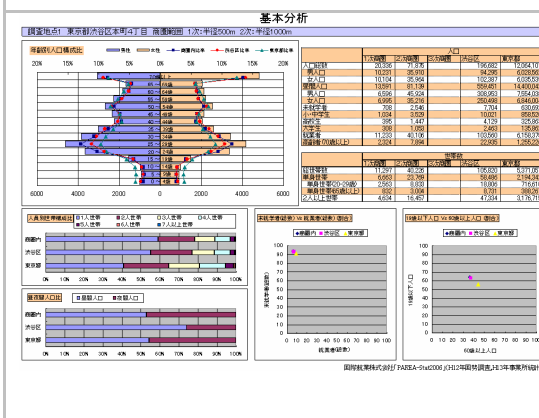
左側の図は調査地点(単一/複数)の商圈を包含する地図画像です。右側にレポート一覧表と調査地点の位置が表示されます。この緯度・経度により、調査地点の読み込みが行われます。

2.8.2 基本分析

基本分析シートには、

- ・人口ピラミッド
 - ・人員別世帯構成比
 - ・昼夜間人口比
 - ・人口/世帯のサマリー
 - ・就業分析/年齢分析
- などが配置されます。

基本分析シートを含め、各シートでは商圈内、市区町村、都道府県の集計値比較表の形式をとっています。



周辺地図

国研経研株式会社 KOKUSAI KOGYO CO., LTD.

2.8.3 周辺地図

周辺地図シートには、分析地点を中心とした詳細図が配置されます。

競合店

No.	直線距離 (km)	名称	業種
1	0.3	セブンイレブン	コンビニ
2	0.3	しまむら	スーパー
3	0.3	コジヤストア	スーパー
4	0.4	名物屋	コンビニ
5	0.4	スリーエフ	コンビニ
6	0.4	フレッシュ	スーパー
7	0.5	セブンイレブン	コンビニ

2.8.4 競合店

競合店シートには、商圏を包含する地図画像と競合店一覧表が配置されます。

2ページ以降には、設定された (下画面に表示された) 店舗属性の一覧が載ります。

No.	直線距離 (km)	名称	業種
1	0.3	セブンイレブン	コンビニ
2	0.3	しまむら	スーパー
3	0.3	コジヤストア	スーパー
4	0.4	名物屋	コンビニ
5	0.4	スリーエフ	コンビニ
6	0.4	フレッシュ	スーパー
7	0.5	セブンイレブン	コンビニ

かかる行政界

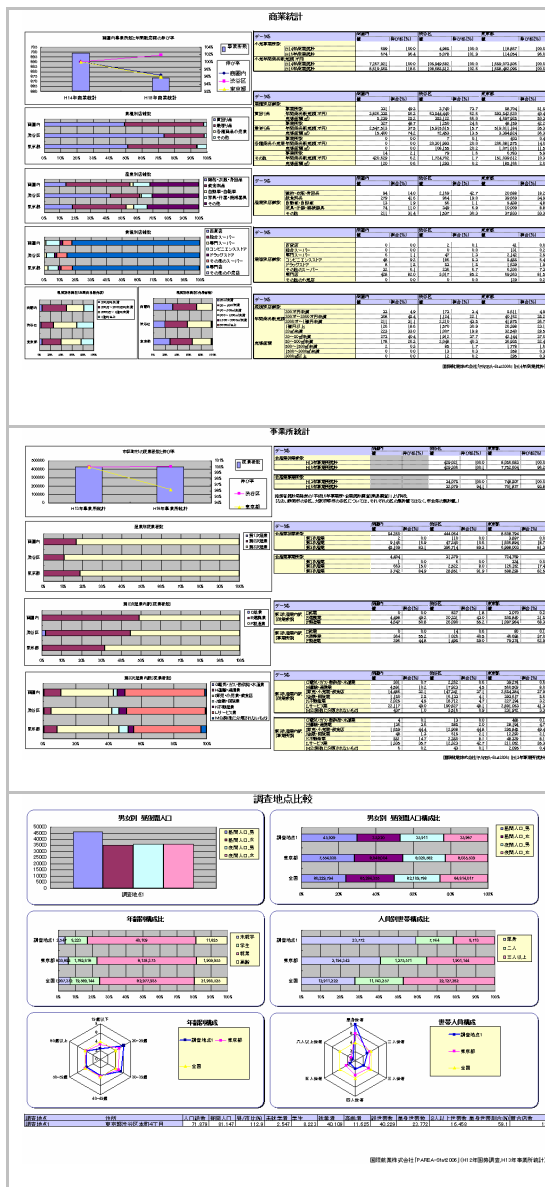
国研経研株式会社 KOKUSAI KOGYO CO., LTD.

2.8.5 かかる行政界

かかる行政界シートには、商圏に掛かる行政界 (町丁目) の、

- ・人口
- ・世帯数
- ・昼間人口
- ・人口密度

が界面表示されます。



2.8.9 商業統計

商業統計シートには、

- ・業種別
- ・産業別
- ・業態別
- ・規模別

の店舗数（一部販売額含む）と、上部には過去の商業統計と比較した、

- ・事業所数伸び率
- ・販売額伸び率

が配置されます。

2.8.10 事業所統計

事業所統計シートには、

- ・産業別
- ・産業内の内訳別

の従業者数および事業所数と、上部には過去の事業所統計と比較した、

- ・従業者数伸び率
- ・事業所数伸び率

が配置されます。

2.8.11 調査地点比較

調査地点比較シートには、

- ・男女別昼夜間人口
- ・男女別昼夜間人口構成比
- ・年齢別構成比およびレーダーチャート
- ・人員別世帯構成比およびレーダーチャート

が配置されます。

3 住所検索

3.1 パネル構成



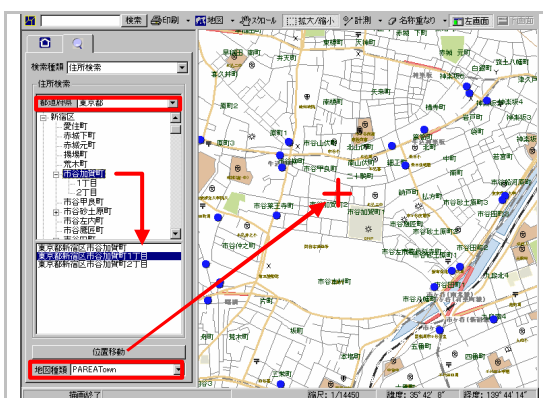
3.1.1 住所検索パネル

住所検索パネルでは2つの検索方法を提供します。住所を都道府県から辿っていく住所検索と、キーワードを与えて住所名を検索する住所文字列検索です。

検索種類として『住所検索』を選択します。左画面が住所ツリー構成となり、住所検索を行います。

検索種類として『住所文字列検索』を選択します。左画面が文字列(キーワード)の検索画面になります。

3.2 住所検索



3.2.1 PAREATown で住所検索

通常の住所検索方法です。町丁目までの住所を検索します。

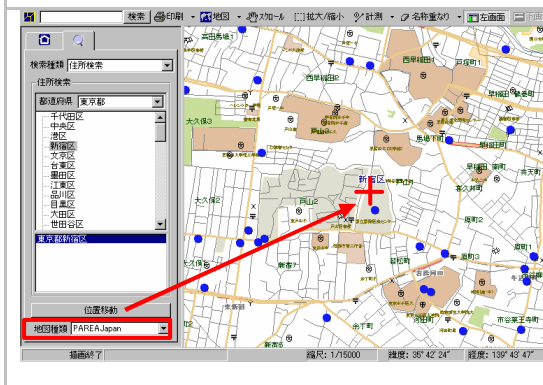
地図種類として『PAREATown』を選択します。

都道府県を与えると、市区町村以下の住所ツリーが表示されます。

市区町村から順にツリーを展開していきます。+ ボタンを押すと展開され、- ボタンで戻ります。

展開された住所をマウスで選択して『地図移動』ボタンを押すと、その住所が地図の中心になります。

ツリーで選択されたレベル(市区町村、大字、町丁目)に応じて、パネルの下段にもそれに属する住所候補が一覧表示されます。パネルの上段と下段、どちらを選択しても構いません。



3.2.2 PAREAJapan で住所検索

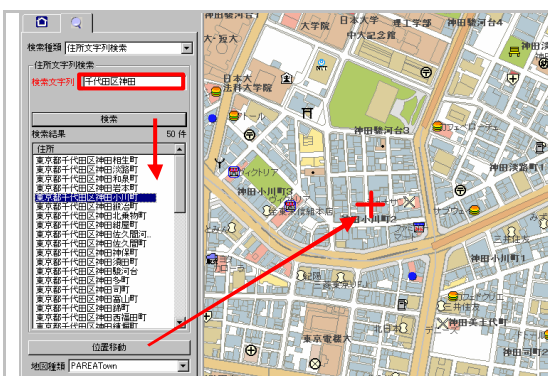
市区町村レベルの住所検索です。PAREAJapan を選択すると市区町村までの住所ツリーとなります。

地図種類として『PAREAJapan』を選択します。

都道府県を与えると、市区町村が一覧表示されます。

市区町村をマウスで選択して『地図移動』ボタンを押すと、その代表点が地図の中心になります。

3.3 住所文字列検索



3.3.1 キーワード検索

住所文字列の一部をキーワードとして与えると、その文字列を含む住所を検索します。

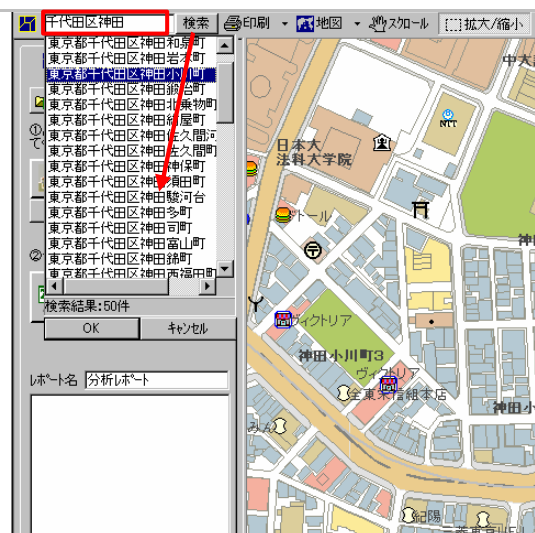
検索種類として「住所文字列検索」を選択します。

地図種類として「PAREATown」あるいは「PAREAJapan」を選択します。PAREATownは町丁目、PAREAJapanは市区町村の住所に使用します。

検索文字列を入力します。文字列にはワイルドカードを使用できます。

検索ボタンを押すと検索結果が一覧表示されます。

検索結果は一定数以下に抑える必要があります。オーバーした場合には「キーワード」を変更して再度検索してください。



3.3.2 ツールバーでキーワード検索

ツールバーで住所文字列検索が可能です。すなわち操作中のパネルを移動しなくても「住所文字列検索」を行い任意の場所に地図移動することができます。

検索文字列を入力します。ワイルドカードも使用可能です。

検索ボタンを押すと検索結果がリストボックスに表示されます。

マウスで住所を選択し「OK」ボタンを押すと、その住所が地図の中心になります。

「キャンセル」すると通常操作に戻ります。

住所検索パネルの住所文字列検索と異なり、検索結果がひとつの場合には「OK」ボタンを押すことなく自動的に地図移動を行います。



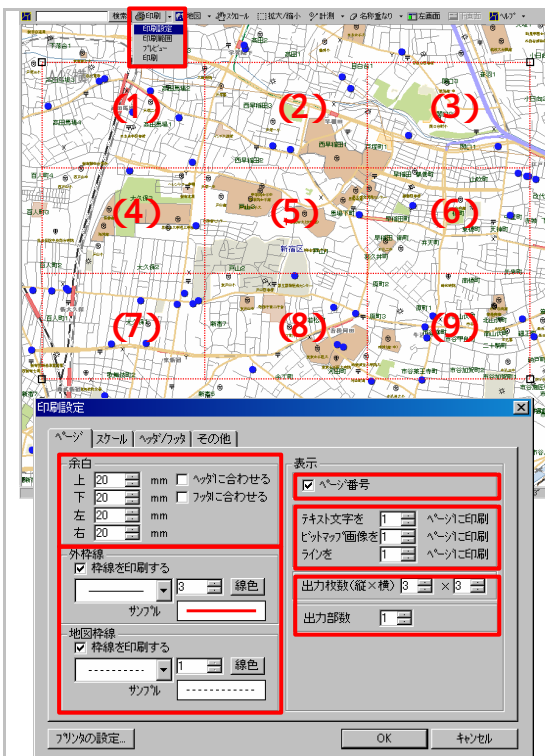
3.3.3 ワイルドカードの利用

キーワードにワイルドカードを使用することができます。ワイルドカードは半角文字の「?」と「*」で、「?」は任意の1文字、「*」は0個を含む任意の文字列を表します。

例えば「*神田??町」とは、神田??町で終わる住所を表すので、千代田区神田淡路町や千代田区神田岩本町などが合致します。これに対し「*神田*町」とは、神田と町の間は任意なので、神田町も合致するし神田淡路町、神田佐久間町なども合致します。ワイルドカードを使わない場合には中間一致検索となり「*文字列」と「*文字列*」は同値です。

4 印刷

4.1 印刷設定



4.1.1 印刷設定画面

印刷の見映えを設定します。余白の大きさや枠線の有無、スケール表示、ヘッダやフッタなどの設定を行います。印刷は1×1から3×3まで印刷領域を分割でき、3×3では合計9ページの印刷が可能です。分割時のページ順は左上から右上に進み、最後は右下のページが最終番号となります。

「ツールバー」の「印刷/印刷設定」を選択します。

先頭の「ページ」タブが表示されます。

余白の大きさを設定します。「ヘッダに合わせる」をチェックすると余白「上」のヘッダ値は意味をなさず、ヘッダのフォントに依存して地図領域が決まります。フッタも同様に余白「下」のヘッダ値が影響されます。

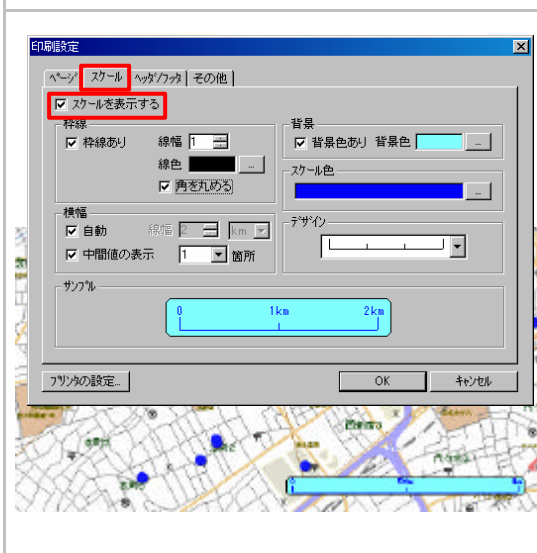
外枠線、地図枠線の設定を行います。外枠線とはヘッダを除いた領域で、更にその内側に地図枠線を設けることができます。

ページ番号の有無を設定します。ページ番号は余白下段の中央に配置されます。ページ番号を表示する場合には必ず余白「下」を取ってください。

テキスト文字、ビットマップ画像、ラインの配置するページ番号を指定します。

4.4 プレビュー画面の図形操作 (p.25)

出力枚数として1×1から3×3までの分割を設定し、出力部数を指定します。



4.1.2 スケールの設定

印刷設定画面の「スケール」タブで、スケールのデザインを行います。

印刷設定画面の「スケール」タブに移動します。

スケール表示の有無を指定します。スケール表示をオフにすると色や形状のデザインは無効となります。

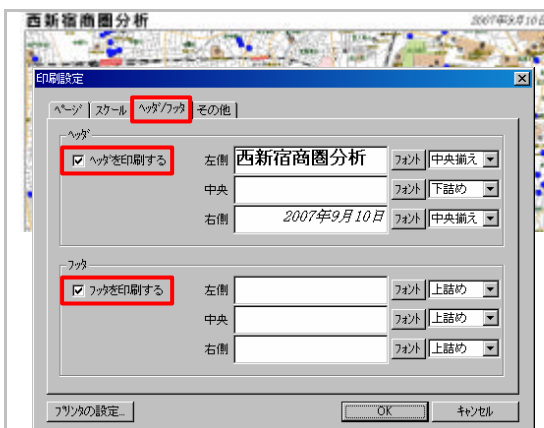
スケール枠の設定を行います。

背景やスケール色の設定を行います。

横幅や目盛りの設定を行います。

各種設定はサンプルの絵柄に反映されます。

① 地図表示のスケールと印刷のスケールは表示方法が異なります。印刷では色や形状をフレキシブルに設定できます。



4.1.3 ヘッダ/フッタの設定

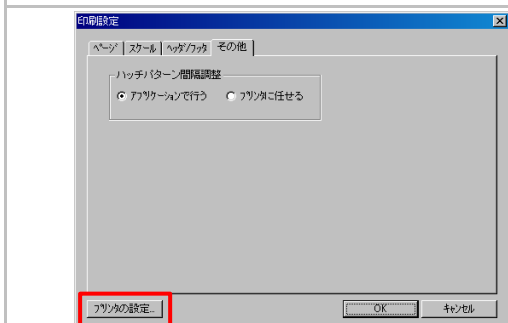
印刷設定画面の「ヘッダ/フッタ」タブで、ヘッダとフッタの設定を行います。

印刷設定画面の「ヘッダ/フッタ」タブに移動します。
ヘッダを印刷する/しないの設定を行います。印刷する場合には文字列を入力します。

左側、中央、右側の文字列に対して、それぞれのフォントを指定することができます。

上詰め/中央揃え/下詰めに指定できます。上詰めは用紙の上縁に沿って、また下詰めは余白に沿って文字が印刷されます。

フッタについてもヘッダと同様の操作となります。



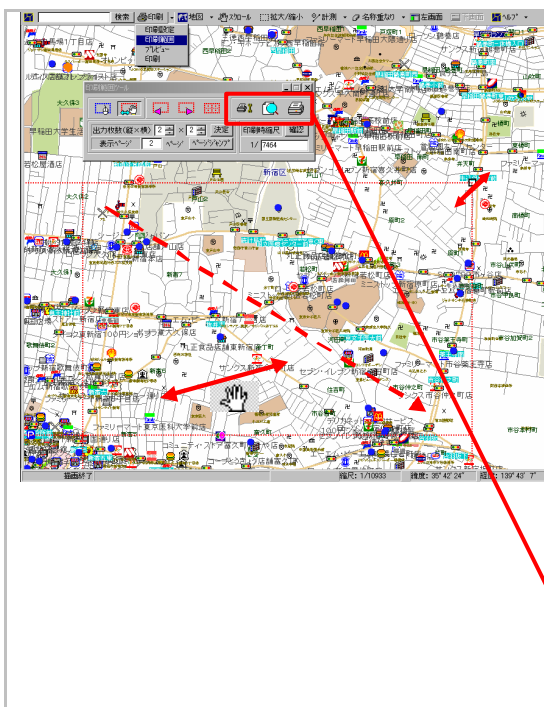
4.1.4 その他の設定

印刷設定画面の「その他」タブは使用しません。設定は無効となります。またタブの選択に関わらず「プリンタの設定」によりプリンタの選択や用紙の設定が可能です。

「その他」タブは使用しません。設定は無効となります。

「プリンタの設定」を行ってプリンタの選択や用紙の設定、印刷の向きとして縦/横の設定等が可能です。これらの設定はお使いのプリンタドライバに依存します。

4.2 印刷範囲ツール



4.2.1 印刷範囲ツール画面

印刷範囲ツールを使うと、地図上で印刷の範囲を設定できます。また一度設定した印刷範囲を、マウスを使って微調整することも可能です。

「ツールバー」の「印刷/印刷範囲」を選択します。

出力枚数として1×1から3×3までの分割数を設定し「決定」ボタンを押すと分割枚数を変更されます。

地図上でマウスをドラッグして範囲を設定します。

印刷範囲を設定した後、マウスのマウスアイコンでドラッグ移動したり、四隅の□をマウスで摘んでドラッグすることにより範囲の拡大や縮小が可能です。

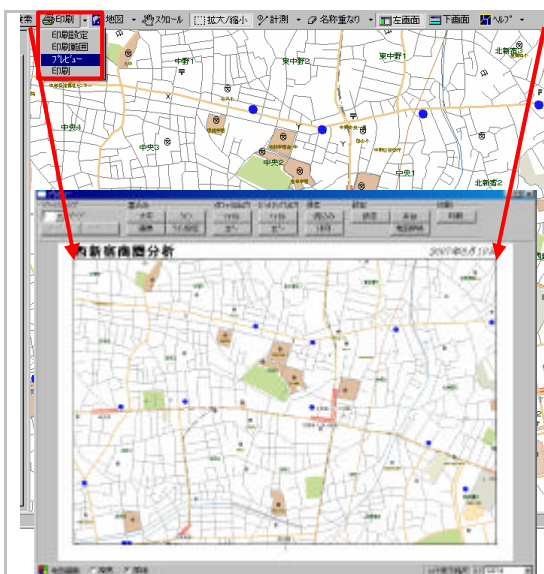
範囲設定をやり直したい場合には「A」を押して「戻す」に戻してください。

複数枚数(分割)設定時は「A」のボタンで表示を切り替えます。「印刷」を押すと印刷領域が地図上に表示されます。

印刷時縮尺の値に任意を数値を入れ「確認」ボタンを押すと、印刷時の縮尺が反映され印刷範囲が調整されます。

この画面からも「印刷設定」「プレビュー」「印刷」メニューを実行できます。

4.3 印刷プレビュー



4.3.1 プレビュー画面

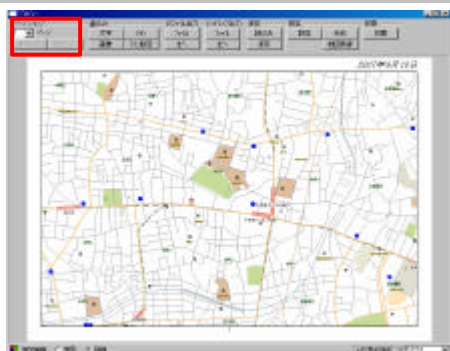
「ツールバー」の「印刷/プレビュー」あるいは「印刷範囲ツール」の「プレビュー」ボタンを選択します。前者は画面全域、後者は範囲指定部分がプレビュー画面に表示されます。画面全域の場合は画面と用紙の縦横比の関係から、左上と右上を合わせる形で画面下部の領域が自動的に調整されます。

「印刷範囲ツール」の「プレビュー」ボタンでは指定された枠線内の地図領域がプレビュー画面に現れます。

「ツールバー」の「印刷/プレビュー」では、画面全域がプレビュー画面に現れますが、画面下部の領域が自動的に調整されます。

調整方法は、地図画面の左上と右上を用紙の左上と右上に合わせる形で、画面の下部領域を調整します。調整の度合いは用紙の向きと余白の大きさに依存します。

また、予め印刷設定でセットされている外枠線や地図枠線、余白、ヘッダ/フッタなどがプレビューに反映されています。



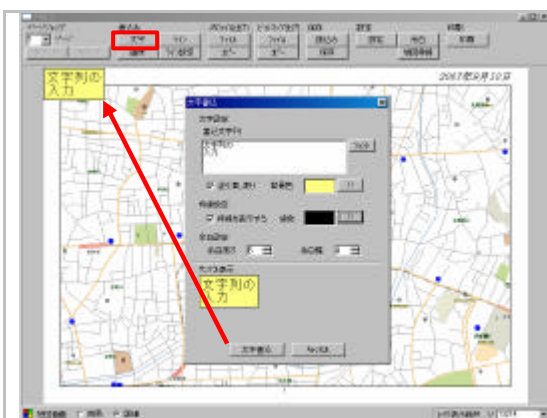
4.3.2 「プレビュー」でページ送りする

複数ページに分割している場合には、ページ送りして、それぞれのページをプレビューします。

「前ページ」あるいは「次ページ」ボタンによりページを切り替えます。

ページ番号をリストから選択することも可能です。

4.4 プレビュー画面の図形操作



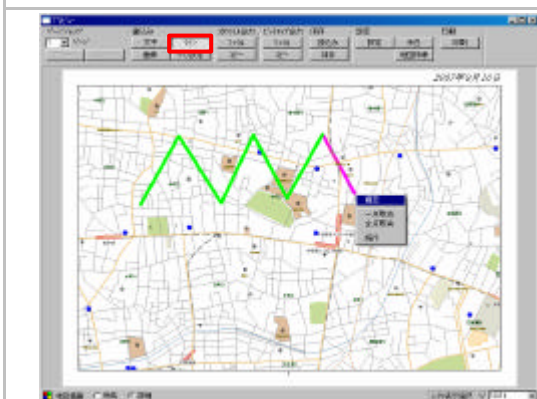
4.4.1 文字列の作図

プレビュー画面上で、文字や線を描いたり、画像を貼り付けたりできます。複数ページに分割している場合には、それぞれの種類で配置(作成)されるページが設定されているので注意が必要です。

 4.1.1 「印刷設定画面」(p.22)

「文字」ボタンを押すと文字列の書き込み用の画面が現れます。文字を入力し(複数行可能)、フォントや塗り潰し、枠線の有無や枠の余白を設定します。

最初文字列はプレビュー画面の左上に表示されるので、マウスでドラッグし、適当な場所に配置します。



4.4.2 ラインの作図

「ライン」ボタンを押すと、ライン作成モードになります。プレビュー画面上でマウスのクリックを連続して行います。

最後に右ボタンメニューで「確定」を選択するとラインが確定します。

右ボタンメニューで前のクリックを取り消したり(一点取消)、最初からやり直したり(全点取消)できます。

ラインの色や線幅は「ライン設定」で定義された内容になります。

ライン作成は連続して行うことができ、作成モードを抜けるには再度「ライン」ボタンを押します。



4.4.3 ライン設定

これから作成するラインの色や線種、線幅などを設定します。

「ライン設定」ボタンを押すと設定画面が現れます。線の色、線種、線幅を設定します。



4.4.4 画像の貼り付け

「画像」ボタンを押すと画像取込用の画面が現れます。

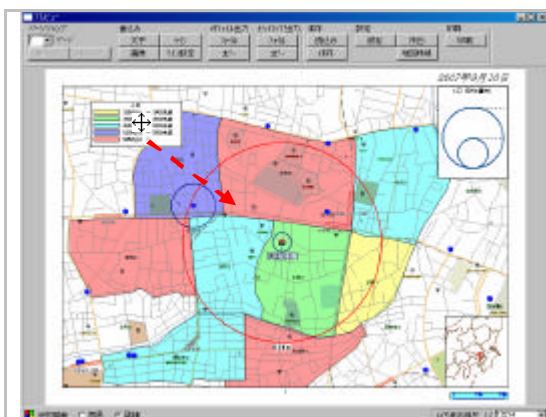
取込元の「ファイル」あるいは「クリップボード」を選択します。ファイルの場合には「ファイルを開く」ダイアログでビットマップファイル(bmp)を指定します。

取込画像は「サンプル表示」で確認できます。

画像の枠線の有無や枠線色を指定します。



表示倍率を変え、地図とのバランスを図ります。

文字と同様、取り込んだ画像はプレビュー画面の左上に表示されるので、マウスでドラッグし、適当な場所に配置します。

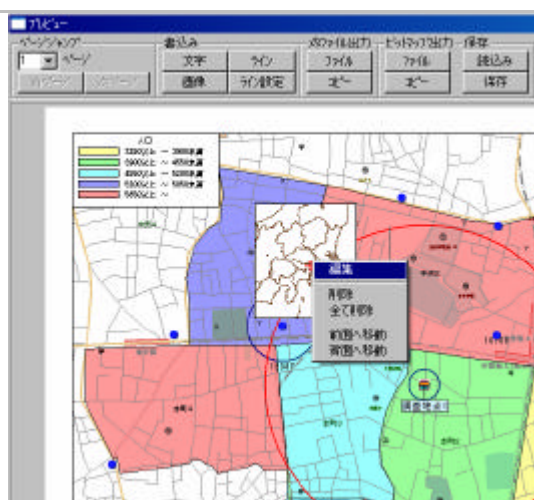


4.4.5 図形オブジェクトの移動

プレビュー上には作成された文字、ライン、画像の他に、スケールと凡例が図形オブジェクトとして存在します。スケールは印刷設定で設定したもの、凡例は調査地点グラフ凡例と競合店グラフ凡例です。これらのオブジェクトはプレビュー上で移動可能です。

オブジェクトが置かれている場所にマウスを動かすと、マウスカーソルが  から  に変化します。これでドラッグが可能になります。

マウスで掴み、好きな場所に移動します。



4.4.6 オブジェクトの編集 削除

一度作成した文字や画像を編集したり削除することができます。ラインについては削除のみとなります。また凡例については編集可能となっていますが削除はできません。地図上に戻って非表示にしてください。またスケールについては編集も削除もできません。印刷設定画面で編集します。

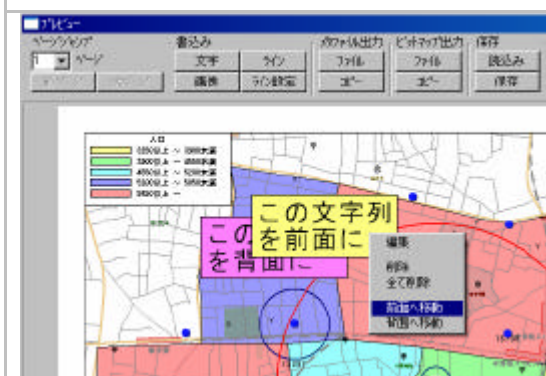
図形が置かれている場所にマウスを動かします。

右ボタンメニューから「編集」を選択すると編集画面（設定画面）が現れます。

それぞれの設定方法に従って編集します。

右ボタンメニューから「削除」を選択すると図形が削除されます。

右ボタンメニューから「全て削除」を選択するとプレビュー上の全ての文字、画像、ラインが削除されます。



4.4.7 オブジェクトの前後関係

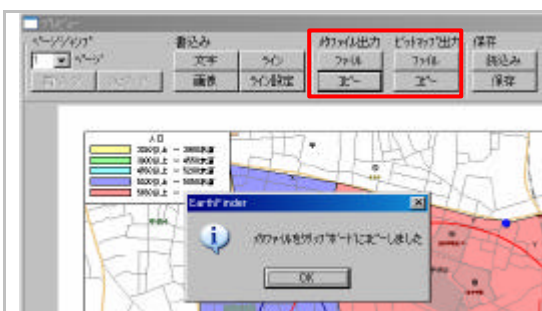
オブジェクト同士が重なり合っている場合に、隠れている図形を前面に出したり、背面に隠します。

図形が置かれている場所にマウスを動かします。

右ボタンメニューから「前面へ移動」を選択すると図形が前面に移動します。

右ボタンメニューから「背面へ移動」を選択すると図形が背面に移動します。

4.5 プレビュー画面の入出力



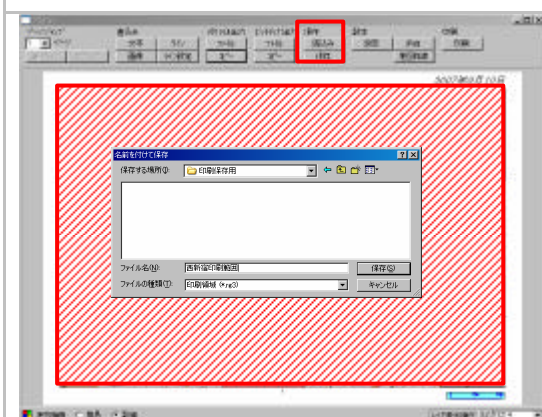
4.5.1 プレビュー画像の出力

プレビュー画像をファイルに出力したりクリップボードへコピーします。

メタファイルおよびビットマップ形式に対応しています。

「ファイル」ボタンを選択すると、名前を付けて保存ダイアログによりファイルを保存します。

「コピー」ボタンを選択すると、それぞれの形式でクリップボードに画像がコピーされます。



4.5.2 印刷領域の保存と読み込み

印刷する地図領域を保存し、再利用することができます。

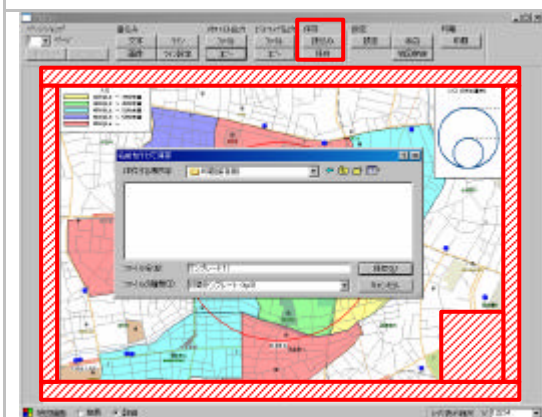
印刷範囲をプレビュー上で確認します。

「保存」ボタンを押します。

ファイルの種類として「印刷領域(*.rg3)」を選択します。

フォルダを指定しファイル名を入力して「保存」ボタンを押します。

印刷領域を復元する場合には「読み込み」ボタンを選び、先に保存したファイルを選択します。



4.5.3 テンプレートの保存と読み込み

地図のテンプレートを保存し、再利用することができます。テンプレートとして保存される内容は、余白の大きさや配置するヘッダとフッタ、枠線情報など、主に印刷設定で保持している項目と、文字やライン、画像などの作図情報です。

印刷の見映えをプレビュー上で確認します。

「保存」ボタンを押します。

ファイルの種類として「印刷テンプレート(*.tp3)」を選択します。

フォルダを指定しファイル名を入力して「保存」ボタンを押します。

印刷テンプレートを復元する場合には「読み込み」ボタンを選び、先に保存したファイルを選択します。

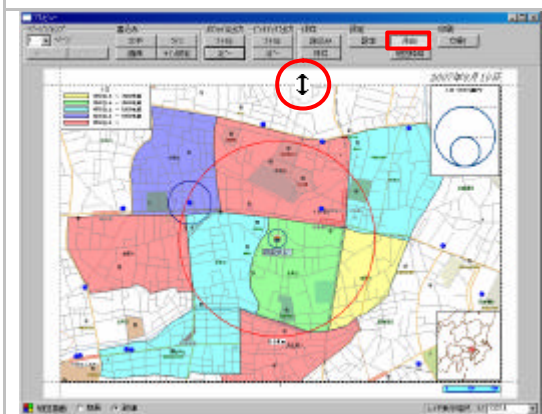
4.6 プレビュー画面の設定



4.6.1 印刷設定

印刷設定をプレビュー画面から実行します。これは「ツールバー」の「印刷/印刷設定」と同一の操作です。

 [4.1 印刷設定](#) (p.22)



4.6.2 余白の修正

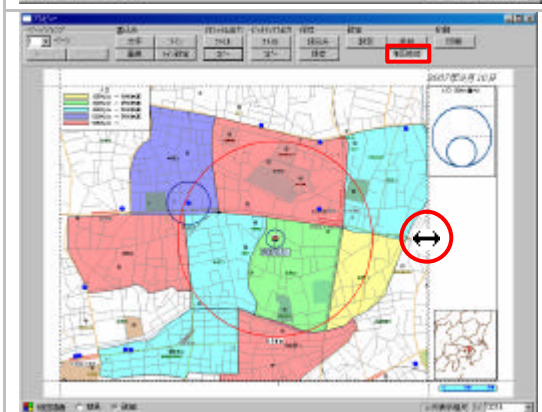
プレビュー画面を見ながら、マウスを使って余白の微調整を行います。

余白」ボタンを押します。

現在の余白の境界が破線で表示され、マウスを近づけると修正用のカーソルに変化します。

縦方向あるいは横方向に向かってマウスをドラッグし、余白の大きさを微調整します。

再度「余白」ボタンを押すと編集モードから抜けます。



4.6.3 地図枠線の修正

プレビュー画面を見ながら、マウスを使って地図枠線の微調整を行います。地図枠線とは、余白を除いた外枠線の内側に更に余分の領域を設けることにより、様々な描画要素を地図とは分離して配置することを目的としています。

地図枠線」ボタンを押します。

現在の地図枠線の境界が破線で表示され、マウスを近づけると修正用のカーソルに変化します。初期の地図枠線は外枠線と重なっています。

縦方向あるいは横方向に向かってマウスをドラッグし、地図枠線の大きさを微調整します。外枠線よりも内側にドラッグすると、地図枠線が修正されます。

再度「地図枠線」ボタンを押すと編集モードから抜けます。



4.6.4 印刷実行

印刷を実行します。実行は「ツールバー」の「印刷/印刷」を選択するか、プレビュー画面の「印刷」ボタンを選択します。どちらも同じ操作となります。

「ツールバー」の「印刷/印刷」を選択するか、あるいはプレビュー画面の「印刷」ボタンを選択します。

用紙サイズと印刷方向、分割数、部数などを確認し「OK」ボタンを押します。

5 その他の操作

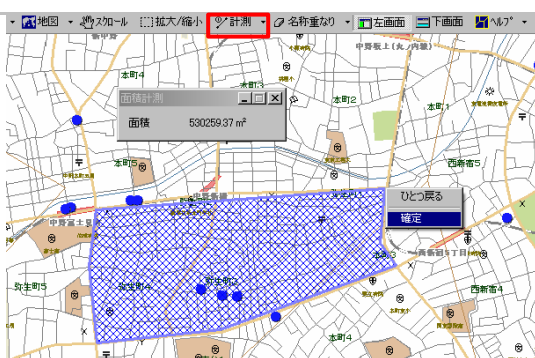
5.1 各種操作



5.1.1 距離の計測

地図上の2点間の距離を測ります。マウスクリックを続けることにより、折れ線のそれぞれの2点間の距離と合計値を測っていきます。

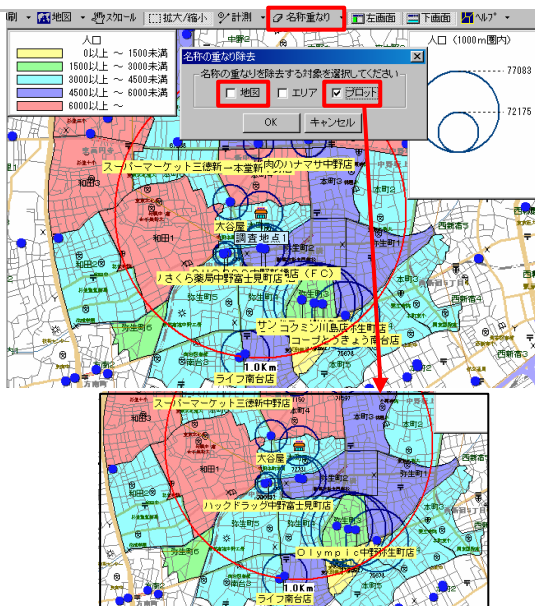
「ツールバー」の「計測/距離計測」を選択します。
地図上でマウスをクリックしていきます。
最後にマウス右ボタンで「確定」を選択します。
2点間の距離を合計値が画面に表示されます。



5.1.2 面積の計測

地図上の矩形の面積を測ります。マウスクリックにより矩形を指定すると、矩形の面積が計測されます。

「ツールバー」の「計測/面積計測」を選択します。
地図上でマウスをクリックしていき、矩形を作成します。
最後にマウス右ボタンで「確定」を選択します。
矩形の面積が画面に表示されます。



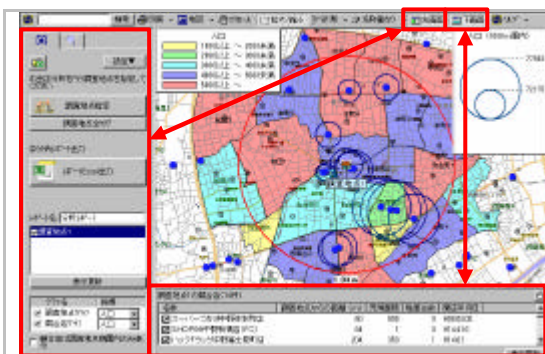
5.1.3 名称の重なり除去

地図の縮尺によっては、地図の文字や店舗名称が混み合っており、お互いに重なり合うことがあります。名称の重なり除去を行うことにより、重なりを間引きします。

「ツールバー」の「名称重なり/名称重なり除去」を選択します。

「地図」にチェックすると地図の文字同志、「プロット」にチェックすると店舗名称同志の重なりを除去します。「エリア」は使用しません。

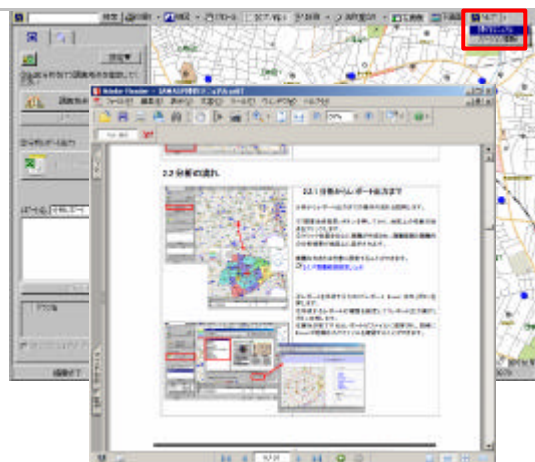
重なり除去を行うと、重なり合った複数の名称のうちいずれか一つを残し、残りの表示をオフします。



5.1.4 画面のオン・オフ切り替え


「ツールバー」の「左画面」を選択すると、左画面（パネル）のオン・オフが切り替わります。

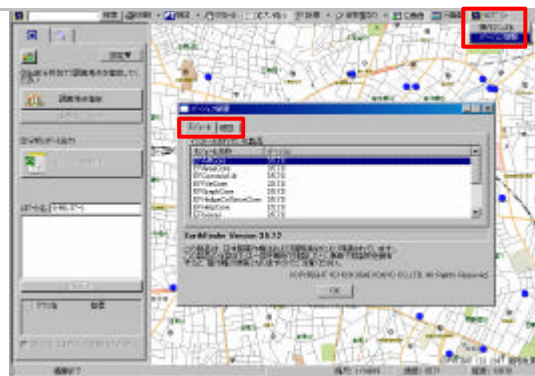
「ツールバー」の「下画面」を選択すると、下画面のオン・オフが切り替わります。



5.1.5 オンラインマニュアルの表示

「ツールバー」の「ヘルプ/操作マニュアル」を選択します。pdf 形式の操作マニュアルが表示されます。

 pdf ファイルを表示するためのアプリケーションが別途必要です。



5.1.6 バージョン表示

「ツールバー」の「ヘルプ/バージョン情報」を選択します。バージョン情報が表示されます。「モジュール」タブと「地図」タブの切り替えと、それぞれのバージョンが表示されます。